

# 叙勲 褒章

顕著な功績を挙げた人などに贈られる春の叙勲・褒章と、警察官など危険な職務に長年従事した人に贈られる危険業務従事者叙勲の受章者が発表されました。市内からは、16人がその栄誉に輝いています。受章おめでとうございました。

**旭日双光章**  
(地方自治功労)  
小野 幸宣さん(79)  
水沢区真城字町屋敷

平成7年旧水沢市議会議員に初当選後、5期19年にわたり議員を務められました。「安易に妥協しない」を信条に、民間経営者の視点で行政改革に取り組みました。

**旭日双光章**  
(地方自治功労)  
高橋 瑞男さん(72)  
衣川区苗代沢

平成3年旧衣川村議会議員に初当選後、6期23年にわたり議員を務められました。会社経営を通じて働く場所を提供。「今後も、地域おこしをしていきたい」と語っています。

**旭日双光章**  
(地方自治功労)  
佐藤 克夫さん(81)  
江刺区八日町

平成7年旧江刺市議会議員に初当選後、5期19年にわたり議員を務められました。教員としての経験を生かし、特に教育、福祉問題に尽力されました。江刺区梁川出身。

**旭日単光章**  
(農業振興功労)  
千田 榮悦さん(70)  
水沢区真城字折居館

昭和56年より農業委員を務め、旧水沢市および奥州市農業委員会会長として農業振興に尽力。女性参画の取り組みを進め、女性委員誕生に貢献されました。

**瑞宝単光章**  
(消防功労)  
阿部 一二さん(82)  
胆沢区若柳字出店

昭和30年旧胆沢村消防団に入団し、38年間消防活動に従事。62年から退団までの6年間、胆沢町消防団分団長を務め、地域の消防の中心として活躍されました。

**瑞宝単光章**  
(統計調査功労)  
高橋 侃さん(79)  
衣川区野崎

昭和32年から国勢調査や商業統計調査など、農業のかたわら数多くの統計調査に尽力。調査に協力してくれた人たちに感謝し「わが身に過ぎたる栄誉」と語っています。

**瑞宝単光章**  
(消防功労)  
小野寺 清志さん(74)  
水沢区字水山

団員だった父の勧めで昭和38年旧水沢市消防団に入団。平成13年から18年まで副団長を務め、退団後も26年3月まで機能別団員として地域の防災に尽力されました。

**藍綬褒章**  
(統計調査功績)  
阿部 昭さん(79)  
前沢区字山下

昭和33年の県農林統計に始まり、国勢調査を11回連続経験。長く続けられた秘訣は「調査が終わる度に感じられる充実感」と話し、現在も調査員として尽力されています。

**瑞宝双光章**  
(看護業務功労)  
千葉 紀子さん(74)  
水沢区朝日町

昭和40年、県立胆沢病院配属に始まり、35年にわたって看護業務に従事。6病院で総看護師長を歴任し、病院移転にも関わるなど地域医療の発展に貢献されました。

**瑞宝単光章**  
(郵政業務功労)  
佐藤 文司さん(66)  
江刺区米里字向平

昭和44年に米里郵便局に採用されてから、1年の転勤を除いて同郵便局に45年間勤務。「お客様第一」を信条に、業務以外のことでも相談に乗るなど地域のために尽力されました。

**藍綬褒章**  
(統計調査功績)  
鈴木 道子さん(62)  
江刺区栄町

平成5年から小売物価統計調査に22回従事。毎日の生活に欠かせない食品類の価格変動の調査に貢献されました。「協力店舗に恵まれ、あつという間の22年」と振り返ります。

**瑞宝単光章**  
(警察功労)  
及川 光弘さん(72)  
水沢区羽田町字下小谷栄

民間会社を経て、昭和39年県警入り。江刺など5つの警察署で駐在所を中心に勤務し、「情を持って仕事に臨む」を信条に、職務に尽力されました。

**瑞宝双光章**  
(警察功労)  
菅原 真一さん(71)  
水沢区宇南大鐘

昭和37年に県警入りし、勤続42年のうち36年間交通部門に勤務。白バイでの国体警らや全国白バイ安全運転競技大会での準優勝なども経験し、地域の安全に貢献されました。

**瑞宝双光章**  
(防衛功労)  
紺野 敏郎さん(61)  
江刺区愛宕字北天間

昭和47年、海上自衛隊に入隊。主に基地での後方支援業務に従事し、北は北海道余市町、南は那覇市に勤務。「楽しくしつかり」の気持ちで職務に精励されました。

**瑞宝単光章**  
(警察功労)  
石川 健児さん(71)  
水沢区秋葉町

高校から始めた剣道が縁となり昭和39年県警入り。機動隊、地域部門、交通部門で尽力されました。退職後に剣道7段を取得、現在も後進の指導に当たられています。

**瑞宝単光章**  
(防衛功労)  
千田 清さん(65)  
水沢区大鐘町

昭和43年、陸上自衛隊に入隊し、主に岩手駐屯地で大砲の測量手や広報などを担当。災害派遣を多く経験され、「使命感を持って任務に当たってきた」と語っています。

**栄誉**

全国の舞台上で活躍

全国JOCジュニア  
五輪カップ

今野選手が男子100mバタフライで準優勝

銀メダルを手にする今野選手

3月27日から30日まで、東京都江東区で第37回全国JOCジュニア五輪カップ春季水泳大会が開催され、水沢南中学校1年(当時水沢南小学校6年)の今野文翔選手が男子100mバタフライに出場。3位に0・01秒差で競り勝ち、59秒54の県学童新記録で準優勝に輝きました。身長156cmの小々な体で大きな記録を打ち出した今野選手。自身初となった1分を切る記録に「喜びより信じられない気持ちの方が大きかった」と明かします。

「今回残った課題をクリアして、中学3年間のうちに全国中学校水泳競技大会に出場したい」と力強く語りました。

佐々木選手が卓球シングルスで準優勝

いわて国体での活躍が期待される佐々木選手

**全国高校選抜卓球大会**

3月26日から28日まで、香川県高松市で第42回全国高校選抜卓球大会が開催され、水沢高校2年(当時1年)の佐々木智也選手が、男子シングルスで準優勝に輝きました。

昨秋から春にかけてのサーブ強化で実力を付け「最初から優勝を狙っていた」と挑んだ今大会。安定感のある両ハンドと好調のサーブで勝ち進みました。

決勝では、これまで経験したことのない相手サーブの威力に屈し、レシーブ力と局面での対応力が不足していたと自己分析します。

来年開催されるいわて国体での活躍を当面の目標に掲げ「今必要なことはたくさん試合を経験すること。さらに上を目指したい」と飛躍を誓いました。